

2022年5月30日

リチウムイオン電池向け負極材事業の強化について
～低膨張天然系負極材の中国における製造能力増強および欧米における製造検討開始～

株式会社三菱ケミカルホールディングス

三菱ケミカルホールディングスグループ（以下、「当社グループ」）は、中国のグループ会社である青島雅能都化成有限公司（中国・山東省青島）および関連会社である青島菱達化成有限公司（中国・山東省青島）において、リチウムイオン電池向けの新規開発製品である低膨張を特長とする天然系負極材の製造能力を、現在の 2,000 トン／年から 12,000 トン／年に増強することを決定しました。また、負極材の供給体制について従来の日本および中国に加えて欧米での製造販売の検討を開始しました。

リチウムイオン電池は、世界的な環境意識の高まりから電気自動車（EV）を中心とした車載用途の需要が急速に拡大しています。車載用途の市場は年平均で 30%近い成長が見込まれており、その主要部材である負極材についても車載用途に対応した高品質かつ環境に配慮した製品への需要が増加しています。

■ **中国における能力増強**

負極材は人造系黒鉛もしくは天然系黒鉛を原料としますが、当社グループは製造工程で GHG 排出量が少なく、ライフサイクルアセスメントに優れた天然系黒鉛を原料とした製品に強みを持っています。加えて、当社グループは、独自開発の新技術（特許取得済）により電池寿命に影響する膨張を抑制し、人造系黒鉛の性能を上回るグレードを新たに開発し、展開しています。このたび、青島雅能都化成および青島菱達化成において本グレードの製造ラインの能力増強を行い、2023 年度前半の稼働を予定しています。

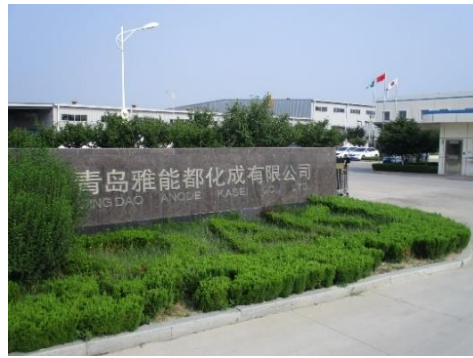
■ **鉱山を保有する海外企業との協業による欧米での製造検討開始**

一方で、自動車メーカーおよび電池セルメーカーのサプライチェーン戦略により、車載用途電池を欧州や北米で現地製造する動きが活発化しています。当社グループはその需要にも対応するため、黒鉛鉱山を保有する海外企業と協業することで天然黒鉛原料の安定確保と欧米での製造販売の検討を開始します。その第一歩として、当社グループは本年5月、モザンビークの鉱山で鱗片黒鉛を製造し、米国で負極材製造を行う Syrah Resources Ltd（オーストラリア・ビクトリア州、以下「Syrah 社」）およびノルウェーに稼働中の鉱山を保有し、オーストラリアでも立ち上げ検討中の黒鉛プロジェクトを持つ Mineral Commodities Ltd（オーストラリア・西オーストラリア州、以下「MRC 社」）と協業に向けた覚書を締結しました。当社グループの負極材製造技術と Syrah 社および MRC 社が採掘する黒鉛が適合するか技術評価を行い、今後の協業内容について検討していきます。

当社グループは、リチウムイオン電池向け負極材の旺盛な需要に対応するべく、グローバルに製造体制を強化し、ライフサイクルアセスメントに優れた製品を提供することでカーボンニュートラルの実現に貢献していきます。



負極材



青島雅能都化成有限公司

【青島雅能都化成有限公司の概要】

所在地：中国・山東省青島平度市

設立：2010年

資本：三菱ケミカル株式会社 100%

事業内容：リチウムイオン電池用負極材の製造販売

【青島菱達化成有限公司の概要】

所在地：中国・山東省青島平度市

設立：2010年

資本：三菱ケミカル株式会社 49%、中国・青島泰達天潤炭材料有限公司 37%、明和産業株式会社 14%

事業内容：負極材用球形化黒鉛の製造販売

【Syrah Resources Ltdの概要】

所在地：オーストラリア・ビクトリア州メルボルン

設立：2007年

事業内容：天然黒鉛鉱石の発掘および加工販売

<http://www.syrahresources.com.au>

【Mineral Commodities Ltdの概要】

所在地：オーストラリア・西オーストラリア州ベルモント

設立：2003年

事業内容：ミネラルサンドおよび天然黒鉛を中心とした工業用鉱物の鉱山開発および加工販売

<https://www.mineralcommodities.com/>

お問合せ先

三菱ケミカルホールディングスグループ

コーポレートコミュニケーション本部

メディアリレーション部 TEL：03-6748-7140